令和6年度

只見町農業集落排水事業会計予算書

目 次

令和6年度只見町農業集落排水事業会計予算	1
予算に関する説明書	5 6 8 9 0 2
参考資料 令和6年度農業集落排水事業会計予算明細書	4.8

議案第32号

令和6年度只見町農業集落排水事業会計予算

(総則)

第1条 令和6年度農業集落排水事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 年間有収水量

430 千㎡

(2) 一日平均有収水量

1, 177 m³

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。なお、営業費用中公営企業会計の会計支援に要する費用800千円に充てるため、企 業債(公営企業会計適用債)800千円を借り入れる。

収	入	
曲业生	ᆇᄮᆛᅩᆂᄴ	7 44

第1款 農	è 業集落排水事業収益	182,221 千円
第1項	営業収益	75,447 千円
	営業外収益	106,774 千円
	支 出	
第2款 農	と 業集落排水事業費用	182,221 千円
第1項	営業費用	151,289 千円
第2項	営業外費用	22,913 千円
第3項	特別損失	6,296 千円
第4項	予備費	1,723 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額12,667千円は損益勘定留保資金 12,667千円で補てんするものとする)。

収 入

第1款 農	農業集落排水資本的収入	130,661 千円
第1項	企業債	22,800 千円
第2項	補助金	107,411 千円
第3項	負担金	450 千円
	支 出	
第2款 農	農業集落排水資本的支出	143, 328 千円
第1項	建設改良費	27,764 千円
第2項	企業債償還金	115,564 千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

	起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
1	過疎対策事業	千円 11,000	証書借入	%以内 5.0	12年以内(うち据置期間3年以内)借入先の条件による。 ただし、町財政の都合により、据置期間及び償還期間を短縮し、 もしくは繰上償還又は低利債に借換えすることができる。
2	下 水 道 事 業	11, 000	同上	同上	30年以内(うち据置期間5年以内)以下同上
3	下 水 道 事 業 (公営企業会計適用債)	800	同 上	同上	10年以内(うち据置期間2年以内)以下同上

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、150,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の全額の流用)

- 第7条 予定支出の各項の経費の全額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。
 - (1)消費税及び地方税に不足が生じた場合における営業費用及び営業外費用の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の全額を、それ以外の経費の全額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費

5,446 千円

(他会計からの補助金)

第9条 下水道事業運営のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、170,550千円である。

令和6年3月 5日 提出 只見町長渡部勇夫

令和6年3月 日 議決 只見町議会議長 大 塚 純一郎 令和6年度只見町農業集落排水事業会計

予算に関する説明書

重要な会計方針に係る事項に関する注記

- 1 固定資産の減価償却方法
 - (1) 有形固定資産 定額法によっている。
 - (2)無形固定資産 定額法によっている。
- 2 引当金の計上基準
 - (1) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当の支払いに備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、翌年度の支給見込 額のうち当事業年度の負担に属する額を計上している。

- (2)貸倒引当金 債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。
- (3) 退職給付引当金 只見町農業集落排水事業における職員の退職手当は、一般会計がその全部を負担することとなっているため、退職 給付引当金は計上していない。
- 3 その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項
 - (1)消費税及び地方消費税の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

令和6年度農業集落排水事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入 (単位:千円)

				(+ ±: 1 1)
款	項	目	予定額	備考
1 農業集落排水事業収			182, 221	
益	1 営業収益		75, 447	
		1 農業集落排水使用料	75, 072	農業集落排水施設利用料
		2 その他営業収益	375	コンポスト売払収益
	2 営業外収益		106, 774	
		1 他会計補助金	63, 139	不明水処理費
				一般会計基準外繰入金
		2 長期前受金戻入	42, 629	
		3 雑収益	6	
		4 消費税及び地方消費税還付金	1,000	

款	項	目	予定額	備考
1 農業集落排水事業費			182, 221	
用	1 営業費用		151, 289	
		1 管渠費	76	浄化槽検査手数料
		2 処理場費	88, 602	農業集落排水施設管理経費
		3 総係費	7, 315	農業集落排水施設事業運営経費
		4 減価償却費	55, 296	固定資産減価償却費
	2 営業外費用		22, 913	
		1 支払利息	17, 486	企業債利息及び一時借入金利息
		2 消費税及び地方消費税	5, 427	消費税及び地方消費税
	3 特別損失		6, 296	
		1 特別損失	6, 296	
	4 予備費		1,723	
		1 予備費	1,723	

資本的収入及び支出

収 入 (単位:千円)

				(1 室: 114)
款	項	目	予定額	備 考
1 農業集落排水事業資			130, 661	
本的収入	1 企業債		22, 800	
		1 企業債	22, 800	農業集落排水事業債
	2 補助金		107, 411	
		1 他会計補助金	107, 411	一般会計繰入金長期債償還債
		2 国庫補助金	0	
	3 負担金		450	
		1 受益者負担金	450	排水加入分担金

					(1 = 1 1 1)
	款	項		予定額	備考
]	農業集落排水事業資			143, 328	
	本的支出	1 建設改良費		27, 764	
			1 農業集落排水管渠建設改良費		施設整備工事 公共桝設置工事 施設補修工事
		2 企業債償還金		115, 564	
			1 企業債償還金	115, 564	

令和6年度農業集落排水事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

	(7740年4月1日かり7741年3月31日よく)	(単位:千円)
1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益(△は純損失)	2,025
	減価償却費	55, 296
	引当金の増減額(△は減少)	0
	長期前受金戻入額	\triangle 42,629
	受取利息及び受取配当金	0
	支払利息	17, 486
	未収金の増加額	,
	未払金の減少額	
	固定資産除却損	0
	小計	32, 178
	利息及び配当金の受取額	0
	利息の支払額	△ 17, 486
	業務活動によるキャッシュ・フロー	14, 692
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
2		\triangle 25, 240
	有形固定資産の取得による支出 無形固定資産の取得による支出	\triangle 25, 240
	馬尾山に貫座の取得による文山 国庫補助金等による収入	450
	国 単	
	投資伯勤によるイヤクシュ・フロー	△ 24, 190
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	22, 800
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	\triangle 115, 564
	一般会計からの出資による収入	107, 411
	財務活動によるキャッシュ・フロー	14, 647
	資金減少額 (又は増加額)	4, 549
	資金期首残高	77, 510
	資金期末残高	82, 059

給与費明細書

農業集落排水

1 特別職

1 11	万川戦				<u></u>		与			費				
区	分	職員数	報酬	給 料		手 当 支 給	調整手当	寒冷地 手 当	その他 の手当	計	共済費	合 計	備	考
		(人)	(千円)	(千円)	率(月)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)		
	長 等	ž												
	議	Į												
本年度	その他の													
	特別哨	ķ												
	計													
	長 等	ž												
	議員	Į												
前年度	その他の													
	特別哨	Į.												
	計													
	長 等	Ě												
比較	議													
	その他の													
	特別哨	Į.												
	計													

- 1 長等とは町長、副町長及び教育長をいい、その他の特別職とは長等及び議員以外の特別職をいう。
- 2 この表は、報酬又は給料をもって支弁される特別職の職員で予算の積算の基礎となったものについて記載すること。
- 3 給与費欄のその他の手当欄に記載した場合は、備考欄に当該手当の内容を具体的に記載すること。

2 一般職

(1) 総括

農業集落排水

						給			与	費					
	区	分	Į	職員数	報	酬	給 料		職員手当	計		共 済 費	合	計	備考
				(人)		(千円)	(千	円)	(千円)		(千円)	(千円)		(千円)	(その他の共済費)
本	年	1	度	1			2, 6	31	1, 976		4,607	839		5, 446	
前	年		度												
比			較												

				扶	養	超	勤	管 3	理 職	特	勤	宿	日直期	末	勤	勉	寒冷	地	初任給	調	整通	勤住	居	児	童	管理職	退職手当
職員		<u> </u>	分	手	当	手	当	手	当	手	当	手	当手	当	手	当	手	当	調整手当	手	当手	当手	当	手	当	特勤手当	組合負担金
手 当					(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	(千円)		(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	(千円)	(千円)
0)	本	年	度				500							536		438		37				104					361
内 訳	前	年	度																								
	比		較																								

- 1 この表は、報酬又は給料をもって支弁される一般職の職員(会計年度任用職員を含む。)で予算の積算の基礎となったものについて記載すること。
- 2 () 内は、再任用短時間勤務職員について外書きすること。

(2) 給料及び職員手当の増減額の明細

区分	増減額	増 減 事 由 別	内 訳 (千円)	説	明	備考
給料		給料改定に伴う増減分 昇給に伴う増加分 その他の増減分				
職員手当		制度改定に伴う増減分 その他の増減分				

- 1 昇給期間短縮とは、給与に関する条例において昇給の基準として規定する一般的な昇給期間の経過前に給料月額を引き上げることとなるすべての措置をいう。
- 2 増減額欄の金額は、「(1)総括」の給料及び職員手当のそれぞれの比較金額と一致すること。
- 3 説明欄には、増減事由別内訳の金額の積算等を適宜記載するとともに、職員手当の制度改正に伴う増減分について当該手当の種類別の内訳を記載すること。

ア 会計年度任用職員以外の職員

(1) 総 括 農業集落排水

		1/LL 1				給		与	費							10/71
	区	分		職員数	報	酬	給 料	職員手当	計		共 済 費	合	計	備	考	
				(人)		(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	(千円)		(千円)	(건	の他の共済費)	
本	年	Ē	度	1			2,631	1, 976		4,607	839		5, 446			
前	年	Ē	度													
比			較													

				扶	養	超	勤	管理	理 職	特	勤	宿	日直期	末	勤	勉	寒	冷 地	初任給	調	整通	勤住	居	児	童	管理職	退職手当
職員		<u>X</u>	分	手	当	手	当	手	当	手	当	手	当手	当	手	当	手	当	調整手当	手	当手	当手	当	手	当	特勤手当	組合負担金
手 当					(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	(千円)		(千円)		(千円)	(千円)		(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	(千円)	(千円)
0)	本	年	度				500							536		438		37				104					361
内 訳	前	年	度																								
	比		較																								

- 1 この表は、報酬又は給料をもって支弁される一般職の会計年度任用職員以外の職員で予算の積算の基礎となったものについて記載すること。
- 2 () 内は、再任用短時間勤務職員について外書きすること。

(2) 給料及び職員手当の増減額の明細

区分	>	増	減	額	増	減	事	由	別	内	訳 (千円)	説	明	備	考
給	料				昇 糸	冷に	伴う	増減増加減	分						
職員手	当							5 増 減 曽 減							

- 1 昇給期間短縮とは、給与に関する条例において昇給の基準として規定する一般的な昇給期間の経過前に給料月額を引き上げることとなるすべての措置をいう。
- 2 増減額欄の金額は、「(1)総括」の給料及び職員手当のそれぞれの比較金額と一致すること。
- 3 説明欄には、増減事由別内訳の金額の積算等を適宜記載するとともに、職員手当の制度改正に伴う増減分について当該手当の種類別の内訳を記載すること。

イ 会計年度任用職員

(1) 総括

農業集落排水

		1/LC: 1H		給			与	費				AZASARII DI A
	区	分	報	計	給	料	職員手当	計	共 済 費	合	計	備考
				(千円)		(千円)	(千円)	(千円	(千円)		(千円)	
本	年	.	主									
前	年	<u> </u>	主									
比	-	車	交									

				扶	養	超	勤	管耳	里 職	特	勤福	著 日	直期	末	勤	勉	寒光	う地	初任給	調	整通	勤住	居	児	童	管理職	退職手当
職員		<u> </u>	分	手	当	手	当	手	当	手	当月	F	当手	当	手	当	手	当	調整手当	手	当手	当手	当	手	当	特勤手当	組合負担金
手 当					(千円)		(千円)		(千円)	(=	千円)	(千	-円)	(千円)		(千円)		(千円)	(千円)		(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	(千円)	(千円)
\mathcal{O}	本	年	度																								
内 訳	前	年	度																								
	比		較																								

1 この表は、報酬又は給料をもって支弁される一般職の会計年度任用職員で予算の積算の基礎となったものについて記載すること。

(2) 給料及び職員手当の増減額の明細

区	分	増	減	額	増	減	事	由	別	内	訳 (千円)	説	明	備	考
給	料				昇 糸	合に	伴う	増減増加減	分						
職員	手 当				制度	改定	に伴う	b 増減 i 減	分						

- 1 昇給期間短縮とは、給与に関する条例において昇給の基準として規定する一般的な昇給期間の経過前に給料月額を引き上げることとなるすべての措置をいう。
- 2 増減額欄の金額は、「(1)総括」の給料及び職員手当のそれぞれの比較金額と一致すること。
- 3 説明欄には、増減事由別内訳の金額の積算等を適宜記載するとともに、職員手当の制度改正に伴う増減分について当該手当の種類別の内訳を記載すること。

(3) 給料及び職員手当の状況

ア 職員1人当り給与

Image: Control of the	分	行 政 職	医 療 職	技 能 職	労 務 職
	平均給料月額(円)	218, 100			
令和6年1月1日現在	平均給与月額(円)	282, 023			
	平均年齢(歳)	27. 1			
	平均給料月額(円)				
令和5年1月1日現在	平均給与月額(円)				
	平均年齢(歳)				

イ 初任給

区分	<u></u> 行 政 職 (円)	医療職(円)	技能職(円)	労務職 (円)	
高 校 卒	169, 900	186, 700	183, 700	167, 700	
大 学 卒	200, 500	214, 700			

ウ 等級別職員数

ツ 寺版が小戦員を	行	政	職	医	療	職	技	能	職	労	務	職
区 分	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比
		(人)	(%)		(人)	(%)		(人)	(%)		(人)	(%)
	1	1	100.0	1			1			1		
	2			2			2			2		
	3			3			3			3		
令和6年1月1日現在	4			4			4			4		
	5			5			5			5		
	6			6			6			6		
	計	1	100. 0	計			計			計		
	1			1			1			1		
	2			2			2			2		
	3			3			3			3		
令和5年1月1日現在	4			4			4			4		
	5			5			5			5		
	6			6			6			6		
	計			計			計			計		

(等級別の標準的な職務内容)

令和6年1月1日現在

	り標準的な職務内谷) -					〒和6年1月1日現任
区分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
	1 主事、技師、保育技師、	1副主査又は副技査の職務	1 主任主査、主任技査、	1副課長、副主幹、	1課長、室長、主幹の職務	1 参事の職
	放射線技師及び	2困難な業務を処理する	主任保育技査、主任放射線	専門放射線技師の職務	2 教育次長、議会事務局長	2職務の内容及び責任の
行 政 職	相談指導員の職務	保育技師、放射線技師、	技師及び主任相談指導員の	2高度な知識又は経験を必要	の職務	程度が前号と同等と認め
	2 主事補、技師補、保育士、	相談指導員の職務	職務	とする業務を行う主任主査	3職務の内容及び責任の	られる職務
	放射線技術員及び		2 係長、主任、主査、技査、	、主任技査、主任保育技査	程度が前2号と同等と認め	
	相談指導員補の職務		保育技査	などの職務	られる職務	
			3職務の内容及び責任の	3職務の内容及び責任の		
			程度が前2号と同等と認め	程度が前2号と同等と		
			られる職務	認められる職務		
医療 職	1 医療業務を行う医師の職務	1診療所長の職務	困難な業務を所管する	特に困難な業務を所管する		
(1)		2診療所の所長代理の職務	診療所長の職務	診療所長の職務		
	准看護師、医療技術員	1看護師の職務	1副看護師長、主任看護師	1看護師長の職務		
医療職	栄養士の職務	2保健師の職務	主任保健師、主任医療技師	2困難な業務を行う副看護師		
(2)		3高度な知識又は経験を必要	及び主任栄養技師の職務	長、主任看護師、主任保健		
		とする業務を行う准看護師	2困難な業務を行う准看護師	師及び主任医療技師の職務		
		の職務	の職務	3職務の内容及び責任の程度		
		4 医療技師、栄養技師の職務		が前2号と同等と認められ		
				る職務		
	運転手					
技 能 職	水道管理員					
190	調理員					
	技能員					
	管理人					
労務職	用務員					
	雑役夫					

工 昇給

	区 分		合	計		代		表		的	な		職		種	
	<u>6</u> 7	Ť	П	刊	行	政	職	医	療	職	技	能	職	労	務	職
	職 員 数	(A) (人)		1			1									
本	昇給に係る職員数	(B) (人)		1			1									
		2号給(人)														
年		4 号給(人)		1			1									
	号給数別内訳	6 号給(人)														
度	度	8号給(人)														
		何号給(人)														
	比 率 (B) / (A) (%)		100.0%			100.0%									
	職員数	(A) (人)														
前	昇給に係る職員数	(B) (人)														
		2号給(人)														
年		4号給(人)														
'	号給数別内訳	6 号給(人)														
度		8号給(人)														
		何号給 (人)														
	 比 率 (B) / (.	A) (%)														

オ 期末手当・勤勉手当

区分	支給	支 給 期 別 支		支給率計(月分)	職制上の段階、職務の	備考
L 7,	6月 (月分)	12月 (月分)	3月 (月分)	\(\text{\figs.}\)	級等による加算措置	vн э 5
本年度	2. 225	2. 225		4. 450	有	
前 年 度						
国の制度	2. 250	2. 250		4. 500	有	

カ 定年退職及び勧奨退職に係る退職手当

区分	20年勤続の者 25年勤続の者		35年勤続の者	最高限度	その他の	備考
	(月分)	(月分) (月分) 加拿		加算措置等	via 3	
支給率等	24. 586875	33. 270750	47. 709	47. 709	定年前早期退職 特別措置 2%~20%	
国の制度(支給率等)	24. 586875	33. 270750	47. 709	47. 709	定年前早期退職 特別措置 3%~45%	

キ地域手当

支 給 対 象 地	域		
支給率	(%)		
支 給 対 象 職 員 数	(人)		
国の指定基準に基づく支給率	(%)		

ク 特殊勤務手当

区分	全職	種	行	政 職	代	表	的		な	職	種	
<u> </u>	土	(1里	11	以 収	医 療	職	技	能	職	労	務	職
給料総額に対する比率(%)												
支給対象職員の比率 (%)												
代表的な特殊勤務手当の名称												

ケ その他の手当

	- 10 - 1																
	区	分		玉	Ø	制	度	ک	の	異	同		差	異	D	内	容
扶	養	手	当				Ē	1									
住	居	手	当				昇	Ę				県	準 則	〕通	Ŋ		
通	勤	手	当				昪	Ę									
宿	日	直 手	当				¥	Ę									

令和6年度農業集落排水事業予定貸借対照表

(令和7年3月31日)

		(市和14-3月3)1 µ /		
	- 1. V/				(単位:千円)
1	固定資產				
	(1)有形固定資產	2, 052, 944			
	有形固定資産減価償却累計額	\triangle 55, 296	1, 997, 648		
	アー建設仮勘定		0		
	有形固定資産合計	_		1, 997, 648	
	(2)無形固定資産				
	アリース資産				
	イ その他無形固定資産		0		
	無形固定資産合計			0	
	(3)投資その他の資産		-		
	アー投資でも過ぎ気圧		0		
	イ その他の投資		U		
	投資合計	-		0	
	TX員口刊 固定資産合計		-	0	1, 997, 648
0					1, 997, 040
2	流動資産		00.050	00.050	
	(1)現金預金		82, 059	82, 059	
	(2) 未収金				
	貸倒引当金		0	0	
	(3) その他流動資産	_		0	
	流動資産合計				82, 059
	資産合計				2, 079, 707
3	固定負債				_
	(1)企業債				
	ア建設改良費等の財源に		707 020		
	ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		787, 839		
	イ その他の企業債				
	企業債合計	_		787, 839	
	(2) リース負債		_	0	
	固定負債合計		-		787, 839
4	流動負債				,
-	(1)一時借入金				
	(2)企業債				
	母乳み自弗学の母酒に				
	アーを記し、反負等の別様に 充てるための企業債		117, 688		
	/u く o /c */ */ エ/	-			

	企業債合計 (3) リース負債	117, 688	
5	(4)未払金(5)賞与等引当金(6)その他流動資産流動負債合計繰延収益長期前受金長期前受金収益化累計額	1, 636, 027 △ 42, 629	117, 688
	繰延収益合計 負債合計		1, 593, 398 2, 498, 925
6	資本金 (1)資本金 ア 固有資本金 イ 繰入資本金 ウ 組入資本金 資本金合計	△ 430, 446	∆ 430, 446
7	剰余金 (1)資本剰余金 ア 受贈財産評価額 イ 工事負担金 ウ 寄附金 エ 補助金 オ その他資本剰余金		,
	資本剰余金合計 (2)利益剰余金 ア 減債積立金 イ 利益積立金 ウ 建設改良積立金 エ 当年度未処分利益剰余金	0	
	利益剰余金合計 剰余金合計 資本金合計 負債資本合計	0	$ \begin{array}{r} 0 \\ $

令和6年度農業集落排水事業 予定開始貸借対照表 (令和6年4月1日)

(単位:千円) 1 固定資産 (1) 有形固定資産 2, 027, 704 有形固定資產減価償却累計額 2, 027, 704 ア 建設仮勘定 0 有形固定資産合計 2, 027, 704 無形固定資産 ア リース資産 イ その他無形固定資産 0 無形固定資產合計 0 投資その他の資産 ア 投資有価証券 0 イ その他の投資 0 投資合計 0 固定資産合計 2,027,704 流動資産 (1)現金預金 77, 510 77, 510 未収金 1, 129 1, 129 貸倒引当金 0 1, 129 (3) その他流動資産 0 流動資産合計 78,639 資産合計 2, 106, 343 固定負債 企業債 (1) 建設改良費等の財源に 883, 141 充てるための企業債 イ その他の企業債 企業債合計 883, 141 (2) リース負債 固定負債合計 883, 141 4 流動負債 (1) 一時借入金 企業債 115, 149 建設改良費等の財源に 充てるための企業債

	(0)	企業債合計		115, 149	
	(3) (4)	リース負債 未払金		12, 358	
	(5)	賞与等引当金		12,000	
	(6)	その他流動資産			
5	繰延り	流動負債合計 77.55			127, 507
5	深処り	×無 長期前受金		1, 635, 577	
		長期前受金収益化累計額			
		繰延収益合計			1, 635, 577
		負債合計			2, 646, 225
6	資本金				
	(1)	資本金			
		ア 固有資本金		△ 539, 882	
		イ 繰入資本金 ウ 組入資本金			
		資本金合計			△ 539, 882
7	剰余金				
	(1)	資本剰余金 ア 受贈財産評価額			
		ア 受贈財産評価額 イ 工事負担金			
		ウ 寄附金			
		工補助金	0		
		オ その他資本剰余金 資本剰余金合計		0	
	(2)	利益剰余金			
	, ,	アー減債積立金			
		イ 利益積立金			
		ウ 建設改良積立金 エ 当年度未処分利益剰余金			
		利益剰余金合計		0	
		剰余金合計			0
		資本金合計			\triangle 539, 882
		負債資本合計			2, 106, 343

令和6年度只見町 農業集落排水事業会計予算明細書

収益的収入及び支出

<u>収</u>入 (単位:千円) 項 節 考 目 予定額 備 1農業集落排水 182, 221 事業収益 1 営業収益 75, 447 1農業集落排水 75, 072 1農業集落排水使用 75,072 現年度分 75,071,345円 75, 071 使用料 過年度分 1,000円(在目計上) 料 2 その他の営業 375 収益 1 雑収益 375 コンポスト売払収入 375 2 営業外収益 106, 774 1 他会計補助金 63, 139 1 他会計補助金 63,139 不明水処理費 9,606 一般会計基準外繰入金 53, 533 2 長期前受金 42,629 戻入 1 長期前受金戻入 42,629 固定資産台帳より 42,629 3 雑収益 1 雑収益 6 個別メーター使用料 4 消費税及び地 1,000 方消費税還付 1 消費税及び地方消 1,000 消費税還付金 1,000

費税還付金

金

支 出						<u>位:干円)</u>
款	項	目	節	予定額	備 考	
1農業集落排水				182, 221		
事業費用	1 営業費用			151, 289		
		1 管渠費		76		
			1 手数料	76	净化槽法定検査手数料	76
		2 処理場費		88, 602		
			1 備消品費	5, 811	集落排水施設用薬品	1, 295
					資源リサイクルセンター用薬品	4, 516
			2 光熱水費		水道料	260
			3 通信運搬費		電話料	85
			4 燃料費	62	燃料費	62
			5 印刷製本費	550	農集排納付書	129
					通知封筒	100
					コンポスト袋代	290
					調整費	31
			6 動力費		電気料	38, 129
			7 修繕費	1,000	施設全体における緊急修繕分	1,000
			8 材料費	200	原材料費	200
			9 保険料	450	火災保険料	450
			10 委託料	33, 872	自家用電気工作物保安業務委託料	462
					使用料徴収業務委託料	37
					処理施設保守点検委託料	31, 955
					情報配信サービス委託料	1,418
			11 手数料	8, 135	肥料成分分析手数料	44
					汚泥運搬手数料	8, 085
			or III dal		放射線物質手数料	6
		1 1 1	12 賃借料		施設管理用重機借上 (R5年度除雪単価より)	48
		3 総係費		7, 315		
			1 給料		一般職員(1名)	2,631
			2 手当	1, 290	超勤手当	500
					寒冷地手当	37
					通勤手当	104
			W. tt. t. t.		期末勤勉手当※974のうち8/12を計上	649
			3 賞与引当金繰入額		期末勤勉手当※974のうち4/12を計上	325
			4 退職給付費		退職手当負担金	361
			5 法定福利費	559	共済組合負担金※839のうち8/12を計上	559

文出						<u>似:十円)</u>
款	項	目	節	予定額	備 考	
			6 法定福利費引当金 繰入額	280	共済組合負担金※839のうち4/12を計上	280
			7 旅費	31	旅費	31
			8備消品費	60	消耗品	01
			9 燃料費		公用車燃料代	
			10 通信運搬費		納付通知書郵便代	
			11 委託料		公労企業会計シフテル程字業数系託	605 800
			12 負担金	30	全国町村下水道推進協議会会費 県農業集落排水事業推進協議会負担金	5 5
					地域資源循環技術センター負担金	20
		4 減価償却費		55, 296		
			1 有形固定資産減価 償却費	55, 296	固定資産台帳より	55, 296
	2 営業外費用			22, 913		
		1 支払利息		17, 486		
			1 企業債利息	17, 486		17, 486
		2 消費税及び地		5, 427		
		方消費税 	1 消費税及び地方消 費税	5, 427	消費税	5, 427
	3 特別損失		2 , 2 =	6, 296		
		1 特別損失		6, 296		
			1 特別損失		・消費税申告額 過去3年平均分と同額計上 R6/6分の賞与引当金と法定福利費引当金繰入額 を計上 総係費のR6予算 賞与引当金繰入額と法定福利	
					費引当金繰入額と同額を計上	
	4 予備費					
		1 予備費		1, 723		
			1 予備費	1, 723		

資本的収入及び支出

収	7.	(出)	位:千円)
収	人	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	业: 干円)

款	項	I	節	予定額	備 考	
1 農業集落排水				130, 661		
事業資本的収	1 企業債			22, 800		
入		1 企業債		22, 800		
			1 企業債	22, 800	過疎対策事業債	11,000
					下水道事業債	11,000
					公営企業会計適用債	800
	2 補助金			107, 411		
		1 補助金		107, 411		
			1 他会計補助金	107, 411	一般会計繰入金長期債償還債	107, 411
	3 負担金			450		
		1 受益者負担金		450		
		及び分担金	1 受益者分担金	450	排水加入分担金	450

~ Ш							\ + \ -\-
款	項	B	節	予定額	備	考	
1 農業集落排水				143, 328			
事業資本的支	1 建設改良費			27, 764			
出		1 農業集落排水 管渠建設 改良費		27, 764			
			1 工事請負費	15, 500	施設整備工事		12, 500
					公共桝設置工事		3,000
			2 修繕費	12, 264	施設補修工事		12, 264
	2 企業債償還金			115, 564			
		1 企業債償還金		115, 564			
			1 企業債償還金	115, 564	公債費元金		115, 564

農業集落排水

企業債の前々年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込に関する調書

	区			分		前々年度末現在高	前年度末現在高(見込)	当該年度中	増減 見込額	当該年度末現在高見込
	四			刊入一及水沙江间	前千文水沙压间(允之)	当該年度中起債見込額	当該年度中元金償還見込額	当 成千及不死任间允及		
						千円	千円	千円	千円	千円
過	疎	対	策	事	業	106, 239	129, 708	16, 600	6, 357	139, 951
下	水	道	<u>Í</u>	事	業	1, 031, 381	956, 383	17, 400	109, 207	864, 576
	合			計		1, 137, 620	1, 086, 091	34, 000	115, 564	1, 004, 527